



傾聴ボランティアグループ「ダンボの会」



傾聴活動の様子



釜石市に手編みの帽子を届ける活動

具体的な取組等(活動の詳細等)

- 地域包括ケアセンター等から依頼を受けた独り暮らし高齢者等（現在、対象者63人）を83人のボランティアが、ふたり一組で毎月2回訪問
- 平成28年度は訪問延件数1,407件、活動者延数2,730人
- 傾聴サロンを毎月第2火曜日に実施
- 福祉まつり、ふれあい電話交流会等、社会福祉協議会ボランティアセンターで実施する事業にボランティアを派遣
- 東日本大震災の被災地（釜石市）に、大学と連携した手編み帽子を届ける活動を実施

・【設立年】 2002年

・【所在地】 荒川区

・【活動年数】 15年

取組の概要

- ▶ 外出困難な高齢者等を孤立しないよう訪問して傾聴を実施
- ▶ 高齢者自身が傾聴の担い手として活動

- 高齢者等を家庭訪問し、傾聴を通して寄り添いながら心のケアや見守り活動を実施
- 高齢者も活動に参加することで、自分自身の生きがいづくりや「お互い様」の関係づくりが可能に
- 家庭を訪問してほしくない高齢者等のために、傾聴サロンを運営

取組の効果

- 地域のつながりや助け合う力が弱まっている今、高齢者の孤立を防ぐ重要な活動となっている。
- 活動する高齢者の生きがいや「お互い様」の関係づくりに寄与。
- 活動を継続する組織づくりを進め、ボランティア数を増やしながら15年にわたり活動している。